

～次世代型橋梁への序章～

平成 21 年度橋梁耐震実験研究成果発表会



*本成果発表会は (社) 土木学会認定 CPD プログラムです。

主催：(独) 防災科学技術研究所

開催日時：平成 21 年 12 月 11 日 (金) 13:30～18:15

開催場所：八重洲ホール (東京都中央区日本橋 3 丁目 4 番 13 号)

(入場無料：90 名先着順、参加希望者は、①氏名、②所属・役職、③連絡先住所・TEL・FAX・E-Mail を明記の上、12 月 3 日までに担当までお申し込み下さい。)

プログラム

- ・開会挨拶 (13:30 ～13:35) 梶原浩一 (防災科学技術研究所)
- ・研究の進捗状況と今後の計画 (13:35～14:00)
 - ・ E ディフェンスを用いた橋梁耐震実験研究の現状と今後の計画： 川島一彦 (実行部会長)
- ・現在までに実施した 3 体の大型震動実験に対する検討結果 (その 1)
(14:00～15:30 質疑含み各 15 分程度)
 - ・震動台のピッチング、ヨーイング、ローリングが C1-5 橋脚の地震応答に及ぼす影響： 佐々木智大 (東京工業大学)
 - ・実大実験に基づく橋梁の動的応答特性の不確定性に関する検討： 高橋良和 (京都大学)
 - ・橋脚の地震応答に及ぼすフーチングからの軸方向鉄筋の抜け出しの影響： 佐々木智大 (東京工業大学)
 - ・コアコンクリートの破壊と粗骨材寸法の関連ならびにインコアシールドの有効性： 川島一彦 (東京工業大学)
 - ・固有振動特性に基づく C 1-5 橋脚の損傷度評価： 永田聖二 (電中研)
 - ・C1-2 実験に基づくコンクリートのせん断強度とその寸法依存性： 佐々木智大 (東京工業大学)
- ・休憩 (15:30～15:40)
- ・現在までに実施した 3 体の大型震動実験に対する検討結果 (その 2)
(15:40～16:30 質疑含み各 15 分程度)
 - ・ E ディフェンス実験結果に基づく橋梁地震被災度判定システムの検証： 塚淳一 (土研)
 - ・大規模計算を使ったコンクリート橋脚の地震応答解析の現状と課題： 堀宗朗 (東京大学) 小国健二 (慶応大学)
 - ・振動台実験結果のシミュレーション解析に基づく解析技術の適用性と今後の研究課題： 運上茂樹 (解析 WG 主査, 国総研)
- ・次世代型高じん性橋脚 (C1-6) に対する検討 (16:30～18:00)
 - ・ C1-6 橋脚選定の経緯： 中山学 (防災科学技術研究所)
 - ・ポリプロピレンファイバーコンクリートの特性： 平田隆祥 (大林組)
 - ・ C1-6 橋脚選定のための予備載荷実験結果： 川島一彦 (東京工業大学)
 - ・ C1-6 橋脚の静的設計と動的解析： 矢部正明 (長大)
 - ・ C1-6 橋脚のブラインド解析について： 岡野素之 (前橋工大・ブラインド解析 WG)
- ・全体質疑： (18:00～18:10)
- ・閉会挨拶： (18:10～18:15) 中山学 (防災科学技術研究所)

(注：講演者、発表内容につきましては、予告無しに変更される場合があることをご了承下さい。)

兵庫耐震工学研究センター 担当：中山, 巳原 TEL：0794-85-8952

お申込み先 E-mail：b.janda@bosai.go.jp FAX：0794-85-8993